



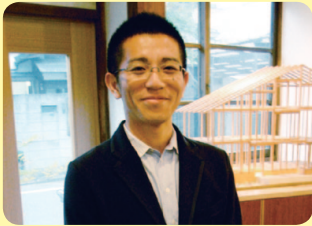
# エコのわタウン



## 古きものの循環が、ひとのつながりを育む

### ◆SHOP◆

#### 古民家を再生して「人の集まれる場」になんてんcafe



株式会社吉川の鯨 なます  
 代表取締役  
 きしもと こう  
**岸本 耕さん**  
 豊島区要町 1-10-7  
 TEL 03-5986-1081  
<http://nantencafe.com>

東京メトロ有明駅から、徒歩1分ほどのビルの谷間に、築65年の木造住宅を丸ごと再生した昭和の香り漂うお店、なんてんcafe(表紙)があります。カフェ入口には「難を転じて、福を呼ぶ」といわれる「なんてんの木」が赤い実をつけています。1階はカフェ、2階はカフェを運営している建築事務所になっています。この事務所は、文化財や寺社建築の改修を手がけた経験から、古い家の素材の風合いと、いにしへの空間の質感を、現在によみがえらせることを得



土間のある店内

意としています。

実際に自分の手がけた空間を見てほしいので、カフェ内に茶室や書棚などの展示もしています。また、若い世代の人にも気軽に入ってもらえるように、ギャラリー・レンタルスペース・教室として活用しています。古き良きものの再生と共に、地域の人々が江戸時代の「め組」(火消しの集まり)のように、ふらっと立ち寄れる「人の集まれる場」にできたらと考えています。

### ◆MARKET◆

#### 一日限定古本街 鬼子母神通り みちくさ市

主催：鬼子母神通り商店陸会  
 協賛：わめぞ、雑司が谷地域文化創造館  
 問い合わせ先 みちくさ市本部 090-1766-2008 (当日のみ)  
 古書現世 03-3208-3144  
<http://kmstreet.exblg.jp/>



民家や商店の軒先に並ぶ出店

「みちくさ市」は、1月を除く奇数月に雑司が谷鬼子母神通りで行われる回遊形の古本をメインとしたフリーマーケットです。鬼子母神通り商店陸会と早稲田・目白・雑司が谷で本に関する仕事をしているグループ「わめぞ」が協力して開催しています。2008年、副都心線雑司が谷駅が開業した当時、地の利をいかし、地元根付いたイベントができないかと始まったのがきっかけです。最初は、鬼子母神境内において開催していましたが、現在は人の動きが回遊するように鬼子母神通り全体を活用し、一層の人のにぎわいを目指しています。

同時に「ブングテン」という古い文具を展示したイベントもあります。倉庫に眠っていた事務用紙を使ったカレンダー作りでは、古紙のリサイクルではなくそのままの魅力を生かす提案をしています。本も文具も古いものを大切にしたい気持ちから、人と人とのつながりが生まれています。



ブングテン 古い紙でカレンダーを作ろう!